

平成31年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	中村健司
		全体計画						経費区分		-		内線	3612
事務事業名	4253 教育奨励事業												
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課												
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費											
	事業	010000 教育奨励事業											
事業目的							事業概要・効果						
地域に開かれた特色ある教育・学校づくりや、学校・家庭・地域が、それぞれ果たす役割を自覚し、ともに連携し、子どもたちの「生きる力」を育み、将来を見据えて、育て合い・生き合う教育を推進する。							各小・中・支援学校における特色ある教育・学校づくり推進事業及び学校運営委員会制度により、地域に開かれた学校づくり、心豊かでたくましく、国際的視野をもち、主体性ある人材育成が一層進むとともに、総合学習への積極的な取り組みを行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
各小・中・支援学校における特色ある教育・学校づくり推進事業及び学校評議員制度により、地域に開かれた学校づくり、心豊かでたくましく、国際的視野をもち、主体性ある人材育成が一層進むとともに、総合学習への積極的な取り組みを行った。	各小・中・支援学校における特色ある教育・学校づくり推進事業及び学校評議員制度により、地域に開かれた学校づくり、心豊かでたくましく、国際的視野をもち、主体性ある人材育成が一層進むとともに、総合学習への積極的な取り組みを行う。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
各小・中・支援学校における特色ある教育・学校づくり推進事業及び学校運営委員会制度により、地域に開かれた学校づくり、心豊かでたくましく、国際的視野をもち、主体性ある人材育成が一層進むとともに、総合学習への積極的な取り組みを行う。	各小・中・支援学校における特色ある教育・学校づくり推進事業及び学校運営委員会制度により、地域に開かれた学校づくり、心豊かでたくましく、国際的視野をもち、主体性ある人材育成が一層進むとともに、総合学習への積極的な取り組みを行う。
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
各小・中・支援学校における特色ある教育・学校づくり推進事業及び学校運営委員会制度により、地域に開かれた学校づくり、心豊かでたくましく、国際的視野をもち、主体性ある人材育成が一層進むとともに、総合学習への積極的な取り組みを行う。	各小・中・支援学校における特色ある教育・学校づくり推進事業及び学校運営委員会制度により、地域に開かれた学校づくり、心豊かでたくましく、国際的視野をもち、主体性ある人材育成が一層進むとともに、総合学習への積極的な取り組みを行う。

指標名	学校に行くのは楽しいと思う児童の割合				
算式					単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標			97	100
	実績	84.5	90.5	91.6	
指標選定の理由	特色ある教育・学校づくりの延長線上にあると考える				
最終年度目標の根拠	義務教育課程であり、全ての児童・生徒に共通の目標である				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		13,389	15,774
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	24	4,640
一般財源		13,365	11,134
人員数 (人)	正規職員	0.5	0.5
	嘱託職員	0.2	0.3
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	3,575.0	3,575.0
	嘱託職員	575.0	862.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	4,150.0	4,437.5
市民一人当たりの経費		0.3	0.4
総額		17,539.0	20,211.5

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	22	自然体験学習看護師謝礼ほか
11節 需用費	128	消耗品 ほか
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	9,615	特色ある教育・学校づくり推進事業負担金、自然体験学習宿泊費負担金 ほか
その他	3,624	自動車借上料、自然体験学習バス借上げ ほか

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	64	自然体験学習看護師謝礼ほか
11節 需用費	215	家庭学習の手引きリーフレット印刷代 ほか
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	9,562	特色ある教育・学校づくり推進事業負担金、自然体験学習宿泊費負担金ほか
その他	5,933	自動車借上料、自然体験学習バス借上げ ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	各学校が工夫を凝らして特色ある学校づくりをするためには事業費が必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	学校の裁量で使える事業費があることで学校の特性に合わせた事業が可能になり、より高い効果が期待できる	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	各学校が共通して行う事業については市が予算を確保して直接発注することにより、効率的に、経費を抑えながら実施できる	

振り返り（決算年度の取組み課題）

峰の原自然体験学習のペンション分宿については2年目となり、昨年の反省を生かしてスムーズに実施することができた。中学生の平和学習事業は電車を利用することにより参加者の負担を軽減することができた。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

30年度の改善に沿って継続していきたい

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

信州型コミュニティースクールを定着したい

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--